

始動・・・共生の森林づくり 緑の回廊「氷ノ山仙国有林」

鳥取森林管理署

中国山地の山容は概してなだらかですが、その東部分、鳥取・岡山・兵庫県境部の山々は比較的険しくせりたち、古くは山陰と山陽、近畿との社会的、経済的交流を分断していました。

一方で、その自然環境、景観が極めて優れていることから氷ノ山後山那岐山国定公園にも指定され、現在ではアクセス路の整備等もあいまつて、年間を通じ多くの来訪があります。

その山塊の盟主が中国地方及び



氷ノ山山頂



つくよねの棚田

鳥取県で大山につき二番目に高い氷ノ山（一、五二〇m）です。鳥取・兵庫両県から幾多もの登山コースが整備されているほか、山麓の若桜町つくよね地区には、スキー場、キャンプ場、宿泊施設、氷ノ山の魅力をPRする「氷ノ山自然ふれあい館 響の森」などがあり、若桜町は、山麓一帯を「わかさ氷ノ山ふれあいの里」として大自然とふれあうゾーンに位置づけています。

この氷ノ山一帯にある氷ノ山仙国有林は、「わかさ氷ノ山ふれあいの里」を取り囲むように位置してお

り、中腹から稜線にブナ林、天然スギなど豊かな植生を擁し、ツキノワグマ、イヌワシをはじめ、西日本では絶滅が危ぶまれている野生鳥獣等の生息の最後の砦となっています。

このような中、本年四月に扇ノ山国有林（鳥取市）周辺から鳥取・岡山・兵庫三県境を経て若杉原生林（岡山県西粟倉村有林）までの稜線約四二km、約七、六〇〇haの国有林・民有林が「東中国山地緑の回廊」として設定されました。

この東中国山地緑の回廊は、他の地域の回廊と異なり区域の約半分がスギの人工林で構成されているのが特徴です。このため、間伐等の森林整備の積極的な実施により、多樹種で多様な生物多様性が高い森林へ誘導し、野生生物の良好な生息環境を確保する必要があります。

現在、既に氷ノ山仙国有林の人工林の一部においては、地元ボランティア団体と「ふれあいの森」の協定が締結され、地域の住民による森林整備が積極的に行われており、東中国山地緑の回廊における生態系保全への取組が始まってい

ます。

近年、農山村においては、過疎化・高齢化に加え、野生鳥獣の被害による生産意欲の低下から集落機能の維持がより厳しくなっています。今後、野生鳥獣との共生を目指した森林づくりとそれを核とした活力ある地域づくりを目指し、地元自治体や関係機関とも連携をしながら取組を強化していきたいと考えています。

氷ノ山の豊かな自然とそのもたらす恵み、麓の笑顔が皆さんをお待ちしております。この感動に会いに足を運んでみられてはいかがでしょうか。



ふれあいの森活動（わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会）

〒六八〇・〇〇一
鳥取県鳥取市東町二・三三五
TEL 〇五〇・三二六〇・六一二五
FAX 〇八五七・二三・五四一一
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/totori/>